

26年度港区運営方針自己評価シート

1 自己評価結果の総括

(1) 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

- ・ 区政会議での議論等を踏まえて25年3月に策定した港区独自の「防災」・「防犯」・「福祉」についての基本計画に基づき、全小学校区において、地域主体で平成25年度には福祉の、平成26年度には防災と防犯の地域行動計画の策定を促進した。区政会議を通じた区政運営を「横系」に、自らの地域の安全・安心を守る地域活動を「縦系」として、横系と縦系が交わる強いネットワークを形成することで、港区にふさわしい区民主体のまちづくりを推進している。
- ・ 区民まつりなどのコミュニティ事業について、企画段階から区民の参加を促すなど、幅広い区民や企業等の多様な主体の参画によるコミュニティづくりを推進している。
- ・ 全地域活動協議会に対して、広報研修、情報交換会等を中間支援組織を活用して実施し、新たな担い手の発掘、育成や開かれた組織運営を促進している。
- ・ 港区の「弱み」を克服し、「強み」を活かした区政を推進するため、地域主体の避難所開設訓練への支援や津波避難ビルの指定等、津波対策を主とした防災力向上の取組を行うとともに、高齢者等の見守り支援や訪れたい魅力と活気あふれるまちづくりの事業等を積極的に実施した。
- ・ 教育委員会事務局港区担当理事として、学校園との連携を強化し、就学制度の改善や特色ある学校づくりの支援などを行った。また、中1ギャップ問題の解決に向けて「家庭学習の手引き」の作成配布や港区の特性を活かしたサイエンスカフェなど、港区独自のさまざまな教育事業を実施し、子どもの学ぶ力、生きる力の育成に積極的に取組んだ。
- ・ 区民の意見やニーズを把握し区政に反映するため、区政会議や来庁者など区民からの意見に対する対応については、速やかにホームページや庁舎内掲示等で公開した。

(2) 解決すべき課題と今後の改善方向

- ・ 港区にふさわしい区民主体のまちづくりを進めるため、2年間をかけて全小学校区で策定された「防災」、「防犯」、「福祉」の各地域の行動計画の実践を促進する。
- ・ 区政会議の議論を活性化させるとともに、区政モニターアンケート、「市民の声」などにより、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し区政に反映していくことが必要である。
- ・ これまで地域活動に積極的に関わってこなかった方も含めた多様な主体に、まちづくりに興味と関心を持ち、参画していただくための取組みを継続して実施する。
- ・ すべての職員と市政改革の基本方針や区の運営方針等の組織目標を共有するとともに、窓口サービスの更なる向上と職員のモチベーションを高める風通しのよい職場づくりに努める。